

2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年11月14日

上場会社名 株式会社スマートバリュー 上場取引所 東
コード番号 9417 URL <https://www.smartvalue.ad.jp/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 渋谷 順
問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 大門 朋恵 (TEL) 06-6227-5577
Division Manager
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年6月期第1四半期 | 805 | 3.4 | △105 | — | △107 | — | △102 | — |
| 2024年6月期第1四半期 | 779 | △1.3 | △189 | — | △189 | — | △167 | — |

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △103百万円(—%) 2024年6月期第1四半期 △192百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年6月期第1四半期 | △9.87 | — |
| 2024年6月期第1四半期 | △16.15 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年6月期第1四半期 | 4,080 | 1,992 | 37.4 |
| 2024年6月期 | 4,037 | 2,158 | 41.8 |

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 1,524百万円 2024年6月期 1,689百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年6月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |
| 2025年6月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,872 | 7.0 | △216 | — | △238 | — | △239 | — | △23.07 |
| 通期 | 5,609 | 47.0 | 68 | — | 23 | — | 3 | — | 0.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年6月期1Q | 10,679,800株 | 2024年6月期 | 10,679,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年6月期1Q | 287,490株 | 2024年6月期 | 287,490株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年6月期1Q | 10,392,310株 | 2024年6月期1Q | 10,392,310株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |
| (収益認識関係) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向により、緩やかな回復基調となったものの、原材料及びエネルギー価格の高騰、物価上昇等が続いており、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは「スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る！」をミッションとし事業を展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、クラウドソリューション事業におけるMRR（月次経常収益）の獲得や行政デジタル化への更なる深耕など持続的成長モデルを収益のベースにしつつ、スマートベニューでのGLION ARENA KOBE（注1）における貸館予約やパートナーシップ契約の獲得などで、新たな収益モデルの創造を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は805,408千円（前年同期比3.4%増）、営業損失は105,706千円（前年同期は189,240千円の損失）、経常損失は107,852千円（前年同期は189,717千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は102,580千円（前年同期は167,873千円の損失）と前年度対比で大幅な改善となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりです。

<デジタルガバメントセグメント>

デジタルガバメントセグメントにおきましては、オープンガバメント（注2）における透明性、参加、連携の社会実装を推進するための自治体向けCLOUD SUITEとして“ガブクラ”（注3）を提供しております。

昨今、オンライン手続など行政デジタル化の流れが活性化し、ガバメントクラウド（注4）やデジタルマーケットプレイス（注5）などの構想へとクラウドへのシフトが一段と鮮明になっております。“ガブクラ”はそうした中での「新しい公」へと続く行政デジタル化の実現に向けて、自治体の情報発信を推進するCLOUD SUITEです。具体的にはWebサイトの作成運用を実装するCMS（注6）である“SMART L-Gov”、住民と自治体をオンラインで繋ぎ「参加・連携」を促す“GaaS”（注7）などによって構成されており、当該“ガブクラ”を通じて持続的なまちづくりを推進しております。

当第1四半期連結累計期間においてデジタルガバメントセグメントでは、新規案件の獲得及び既存顧客の深耕に注力し、継続的な原価低減活動などに取り組みました。自治体及び公的機関を納入先とする入札案件においては、政府の行政デジタル化に関する取り組みが進められる中、前年度は競争環境激化による受注率の低下が見られましたが、今年度の受注率は順調に回復しております。また、クラウド環境の移設に伴う二重経費の計上、グラングリーン大阪での新しいヘルスケア事業への先行投資がコストを圧迫いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は382,512千円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は17,625千円（前年同期比40.5%増）となりました。

<モビリティ・サービスセグメント>

モビリティ・サービスセグメントは、祖業である自動車電装に端を発し、100年に一度という自動車産業の大変革期において、自動車に装着する安全支援機器や情報デバイスの販売であるカーソリューションから、コネクティッドカー（注8）サービスである“CiEMSシリーズ”（注9）やクルマのデータ利活用を推進するプラットフォーム、ソフトウェア、さらにカーシェアリングなどクルマのサービス化を支援するプラットフォーム“Kuruma Base”（注10）の提供へと、多様なモビリティIoTを事業とするモビリティ・サービスを推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、2024年7月31日付でカーソリューション事業におけるリース車両向け物販事業を譲渡したことによる赤字事業の解消及び収益性向上に向けた原価低減や業務効率化などを実行した結果、原価率は改善されたものの減収減益となりました。

以上の結果、セグメント売上高は271,740千円（前年同期比25.2%減）、セグメント利益は43,580千円（前年同期比12.5%減）となりました。

<スマートベニューセグメント>

スマートベニューセグメントでは、2025年4月開業のGLION ARENA KOBEを軸として、政府が成長産業として位置付けるスタジアム・アリーナ改革やスマートベニューという概念に則り、新たな市場の創造を目指しております。さらに収益的にもデジタルガバメント、モビリティ・サービスに続く3本目の柱として当社グループの成長を支える存在になるよう順調に準備を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、中長期的な収益の獲得を見据え、2025年の開業に向けた環境整備を推進し、当第1四半期連結累計期間の期初から大口協賛を獲得し大幅な増収となりました。投資が先行しているものの、原価や販売管理費といったコストの抑止に注力したことにより、営業損失ではあるものの大幅な改善となりました。

以上の結果、セグメント売上高は151,155千円（前年同期比213.6%増）、セグメント損失は51,541千円（前年同期は125,316千円の損失）となりました。

【用語解説】

- 注1. GLION ARENA KOBE : NTT都市開発株式会社、株式会社NTTドコモ及び当社の3社企業コンソーシアムによる民設民営のアリーナプロジェクトである「神戸アリーナプロジェクト」のもと、兵庫県神戸市中央区の新港突堤西地区（第2突堤）に建設中の多目的アリーナ。2024年2月に名称を「GLION ARENA KOBE（ジーライオンアリーナ神戸）」と決定した。
- 注2. オープンガバメント : 透明でオープンな政府及び地方自治体を実現するための政策とその背景となる概念のことで、（1）透明性、（2）市民参加、（3）官民の連携の3つを基本原則としている。
- 注3. ガブクラ : 当社が提供する、自治体・公的機関向け地域情報クラウドプラットフォームのこと。
- 注4. ガバメントクラウド : 国の全ての行政機関（中央省庁・独立行政法人など）や地方自治体が共同で行政システムをクラウドサービスとして利用できるようにした「IT基盤」のこと。
- 注5. デジタルマーケットプレイス : 複数のベンダーやサービスを一律の要件で登録し、登録されているサービス・企業について、行政機関が、入札など不要で簡易的に調達できる仕組みのこと。
- 注6. CMS : Contents Management Systemの略で、Webサイトのコンテンツを構成するテキストや画像、デザイン・レイアウト情報（テンプレート）などを一元的に保存・管理するシステムのこと。
- 注7. GaaS : Government as a Serviceの略で、当社が提供する行政サービスをデジタル化するオンライン手続きのサービス。
- 注8. コネクティッドカー : インターネットに接続され、情報を送ることも受け取ることもできる自動車のこと。
- 注9. CiEMSシリーズ : 当社が提供する、モビリティから取得した多様なデータを分析・活用することで、交通事故の削減、渋滞の緩和、車両活用の効率化など、様々な社会課題の解決をするためのサービス。
- 注10. Kuruma Base : 当社が提供する、クルマのコネクティッド化からサービス化までをインテグレートするプラットフォーム。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,080,851千円となり、前連結会計年度末と比べ43,368千円の増加となりました。

流動資産は2,272,255千円となり、前連結会計年度末と比べ186,287千円の減少となりました。その主たる要因は、現金及び預金が102,379千円、受取手形、売掛金及び契約資産が12,730千円、商品が27,080千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,805,616千円となり、前連結会計年度末と比べ230,371千円の増加となりました。その主たる要因は、建設仮勘定が224,859千円増加したことによるものであります。

繰延資産は2,980千円となり、前連結会計年度末と比べ715千円の減少となりました。その主たる要因は、株式交付費が685千円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,087,915千円となり、前連結会計年度末と比べ209,278千円の増加となりました。

流動負債は1,331,677千円となり、前連結会計年度末と比べ2,060千円の増加となりました。その主たる要因は、契約負債が119,639千円増加したものの、買掛金が29,263千円、短期借入金が46,480千円、賞与引当金が11,405千円、その他流動負債が37,614千円減少したことによるものであります。

固定負債は756,238千円となり、前連結会計年度末と比べ207,218千円の増加となりました。その主たる要因は、長期借入金が212,642千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,992,935千円となり、前連結会計年度末と比べ165,910千円の減少となりました。その主たる要因は、利益剰余金が配当金の支払いにより62,353千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により102,580千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想については、2024年8月14日付「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました通期の予想数値に変更はございません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,726,858 | 1,624,479 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 474,606 | 461,876 |
| 商品 | 86,070 | 58,990 |
| 仕掛品 | 4,822 | 8,901 |
| その他 | 166,203 | 118,025 |
| 貸倒引当金 | △18 | △18 |
| 流動資産合計 | 2,458,542 | 2,272,255 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 143,297 | 139,661 |
| 建設仮勘定 | 583,257 | 808,116 |
| その他（純額） | 141,019 | 135,553 |
| 有形固定資産合計 | 867,575 | 1,083,332 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 109,637 | 105,576 |
| ソフトウェア | 111,349 | 113,582 |
| その他 | 61,375 | 75,601 |
| 無形固定資産合計 | 282,362 | 294,760 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 83,557 | 89,945 |
| 敷金及び保証金 | 231,178 | 229,669 |
| その他 | 110,571 | 107,908 |
| 投資その他の資産合計 | 425,307 | 427,523 |
| 固定資産合計 | 1,575,245 | 1,805,616 |
| 繰延資産 | | |
| 創立費 | 207 | 177 |
| 株式交付費 | 3,488 | 2,802 |
| 繰延資産合計 | 3,695 | 2,980 |
| 資産合計 | 4,037,483 | 4,080,851 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 85,926 | 56,662 |
| 短期借入金 | 360,740 | 314,260 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 91,753 | 104,351 |
| 未払法人税等 | 8,850 | 3,438 |
| 契約負債 | 401,770 | 521,410 |
| 賞与引当金 | 57,449 | 46,043 |
| その他 | 323,125 | 285,510 |
| 流動負債合計 | 1,329,616 | 1,331,677 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 378,626 | 591,269 |
| 繰延税金負債 | 2,377 | 2,233 |
| 資産除去債務 | 85,550 | 85,605 |
| その他 | 82,466 | 77,131 |
| 固定負債合計 | 549,020 | 756,238 |
| 負債合計 | 1,878,637 | 2,087,915 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,044,944 | 1,044,944 |
| 資本剰余金 | 1,114,988 | 1,114,988 |
| 利益剰余金 | △315,888 | △480,822 |
| 自己株式 | △154,411 | △154,411 |
| 株主資本合計 | 1,689,632 | 1,524,698 |
| 非支配株主持分 | 469,214 | 468,237 |
| 純資産合計 | 2,158,846 | 1,992,935 |
| 負債純資産合計 | 4,037,483 | 4,080,851 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 779,072 | 805,408 |
| 売上原価 | 599,813 | 537,074 |
| 売上総利益 | 179,259 | 268,334 |
| 販売費及び一般管理費 | 368,499 | 374,041 |
| 営業損失(△) | △189,240 | △105,706 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 104 |
| 助成金収入 | 250 | — |
| 違約金収入 | 927 | 2,129 |
| 賃貸料収入 | — | 7,110 |
| その他 | 681 | 220 |
| 営業外収益合計 | 1,864 | 9,564 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,660 | 3,382 |
| 創立費償却 | 29 | 29 |
| 株式交付費償却 | 651 | 685 |
| 賃貸収入原価 | — | 6,383 |
| その他 | — | 1,228 |
| 営業外費用合計 | 2,341 | 11,709 |
| 経常損失(△) | △189,717 | △107,852 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6 | 16 |
| 特別損失合計 | 6 | 16 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △189,724 | △107,869 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,219 | 2,219 |
| 法人税等調整額 | 597 | △6,531 |
| 法人税等合計 | 2,816 | △4,312 |
| 四半期純損失(△) | △192,541 | △103,556 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △24,668 | △976 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △167,873 | △102,580 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △192,541 | △103,556 |
| 四半期包括利益 | △192,541 | △103,556 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △167,873 | △102,580 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △24,668 | △976 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------|----------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | デジタル ガバメント | モビリティ・ サービス | スマート ベニュー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一時点で移転される財又はサービス | 1,721 | 153,293 | 5,098 | 160,113 | — | 160,113 |
| 一定の期間にわたり移転される財又はサービス | 365,863 | 209,987 | 43,108 | 618,959 | — | 618,959 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 367,584 | 363,280 | 48,207 | 779,072 | — | 779,072 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 367,584 | 363,280 | 48,207 | 779,072 | — | 779,072 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 367,584 | 363,280 | 48,207 | 779,072 | — | 779,072 |
| セグメント利益又は損失(△) | 12,544 | 49,800 | △125,316 | △62,971 | △126,269 | △189,240 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△126,269千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------|----------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | デジタル ガバメント | モビリティ・ サービス | スマート ベニユー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 一時点で移転される財又はサービス | 1,298 | 81,152 | 16,260 | 98,710 | — | 98,710 |
| 一定の期間にわたり移転される財又はサービス | 381,214 | 190,588 | 134,895 | 706,698 | — | 706,698 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 382,512 | 271,740 | 151,155 | 805,408 | — | 805,408 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 382,512 | 271,740 | 151,155 | 805,408 | — | 805,408 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 382,512 | 271,740 | 151,155 | 805,408 | — | 805,408 |
| セグメント利益又は損失(△) | 17,625 | 43,580 | △51,541 | 9,664 | △115,371 | △105,706 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△115,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 32,530千円 | 30,062千円 |
| のれんの償却額 | 4,060千円 | 4,060千円 |

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。